

熊本市上下水道局 ~今年「熊本市水道創設90周年」

PR



熊本市水道創設 90周年

the 90th Anniversary

おうちで使ったあとの水はどこへいくんだらう?

台所や浴槽、トイレで使った後の水はどこに流れていくのでしょうか? その答えを探しに、熊本市在住の内田さん親子が熊本市の南部浄化センターを訪問。汚れた水がきれいになり、再利用もされている様子を見学しました。

汚泥を100%リサイクル

各家庭や企業、商業施設などから流された下水は、下水道管を通じて浄化センターへ。

南部浄化センターで下水がきれいになっていく過程を見学した健斗くんと陽仁くんは、「すごい!」と興奮気味です。

処理過程で発生した汚泥は汚泥処理施設へ。「汚泥が100%リサイクルされているなんて知りませんでした。感動です。私たちも水を汚さないよう気をつけなくちゃ」と智子さんも話していました。

※熊本市の下水道普及率は87.8% (平成25年度末)。下水道管の延長は熊本から北海道までの距離に相当する2511kmに!



1日に3万トンの下水を処理している南部浄化センターは、24時間稼働。反応タンクの中では、微生物が汚れを食べて沈めてくれます



タマネギみたいな大きな消化タンクにびっくり!



最終沈殿池の水は泥と上澄み水に分かれます

普段はお母さんのお手伝いとして食器を洗うこともある2人。「洗ったあと、水は排水溝からどこにいくんだらう?」



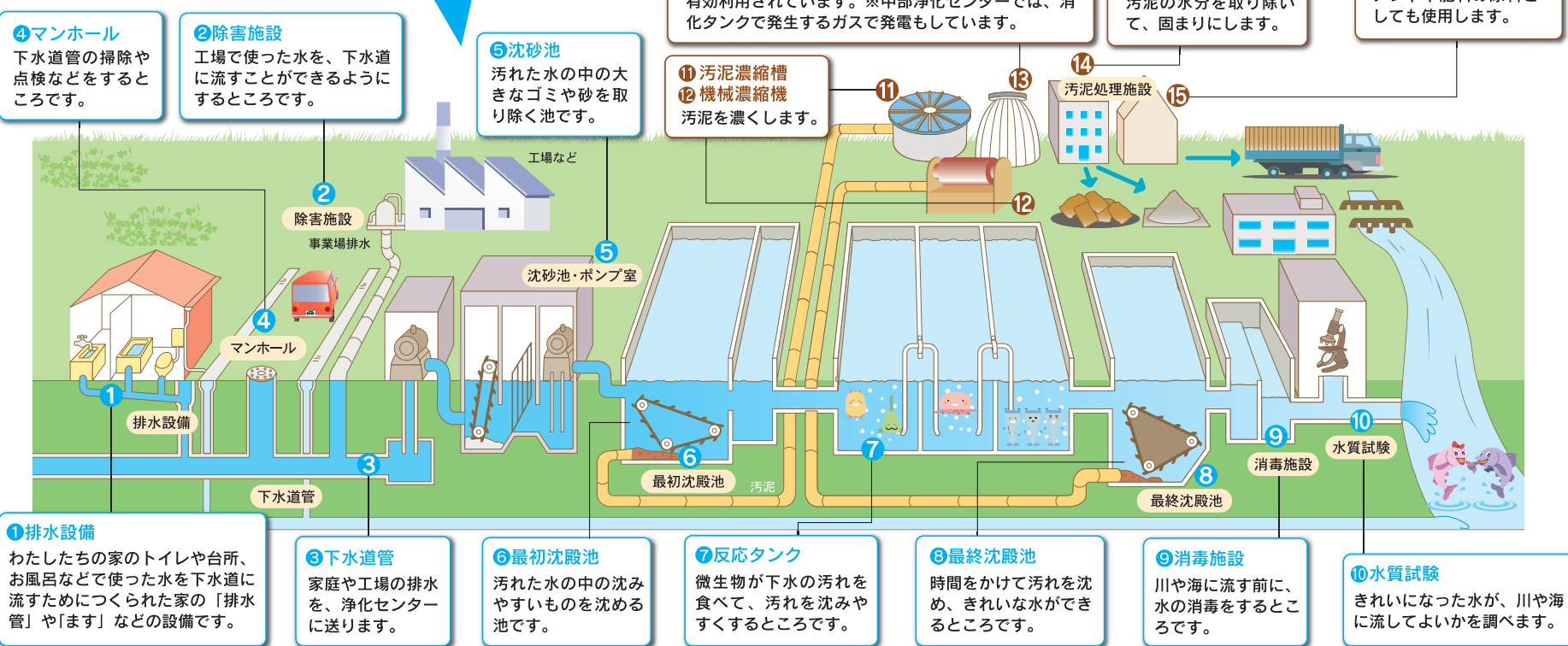
内田 智子さん(熊本市北区)、陽仁くん(左)、健斗くん

「使った水がどこに行くのか、考えたことがなかった」という健斗くんと陽仁くん。大好きな熊本の水の行方を勉強します!



南部浄化センターは全国で5番目に汚泥の固形化を実現。浄化センターで発生する汚泥を処理しています。脱水汚泥から製造された固形燃料は火力発電所で燃料に再利用。脱水汚泥は、コンポスト(肥料)やセメントの材料にもなります。

浄化センターには、下水をきれいにする水処理過程と汚泥を処理する過程があります。



「安心・安全」な暮らしのために、下水道の整備をすすめています。工事中はご迷惑をおかけしますが、ご協力よろしくお願いいたします。

下のような順序で下水道工事をを行います。騒音や交通規制などご迷惑をおかけしますが、騒音抑制と歩行者や車両の安全確保に努め、工事を進めていきますので、ご協力よろしくお願い致します。



お問い合わせは 下水道整備課 ☎096(381)6103

「安心・安全」な暮らしのために、ぜひお願いいたします。油や野菜クズなどを流さないでください。



流し台から野菜クズ・ごみ・油、水洗便所から溶けにくい紙類を流すと、下水道管が詰まったり、浄化センターの処理能力に悪影響を与えたりします。また、単体ディスポーザ(食品クズ粉碎機)で砕いた野菜クズなども下水管内に堆積腐敗し、悪臭や詰まりの原因となるので流さないでください。 ※野菜クズの流れないディスポーザ排水処理システムがありますので、設置される場合は給排水設備課へ事前に相談してください。 お問い合わせは 給排水設備課 ☎096(381)1153